

2015 ITAMI International Jewellery Exhibition

2015 伊丹国際クラフト展 [ジュエリー]

2015年11.14 [土] - 12.23 [水・祝]

月曜休館 (祝日の場合翌日)・入場無料
10:00-18:00 (入館は17:30まで)

伊丹国際クラフト展は、今回で18回目を迎えました。今年のテーマは「ジュエリー」です。

伊丹市立工芸センターでは、プロのジュエリー作家育成を目的とした「伊丹ジュエリーカレッジ」を開講するなど、ジュエリー文化の発展に力を注いでおり、国内外で「ITAMI=ジュエリー」との認識が年々広がっています。

今回は、海外23ヶ国132名を含む、343名1,153点の応募がありました。厳正な審査の結果、97名が入選、そのうち8名が入賞されました。海外からは58名が入選、うち6名が入賞と、国際展の名にふさわしく、世界各国から力作が集まりました。

多様なバックグラウンドから寄せられた作品は、素材や技法、コンセプトも様々です。悠然とした存在感を備えたもの、高度な技巧を駆使したもの、新しいアイデアを提示するものなど、興味深いジュエリーが数多く見られました。入選作品展では、そのような「ジュエリー」の幅広さ、奥深さをお楽しみいただければ幸いです。

今回はスケールについて。

彫刻展の審査をするときと同じ気持ちでジュエリー展の審査に臨んだ。

私自身が彫刻家であり、ジュエリーは小さな彫刻であると思っているからである。

指先の彫刻。胸元の彫刻。耳葉の彫刻。掌の彫刻。机上の彫刻。基本的には身体と身边を巡る造形物、と私はジュエリーのことを捉えている。

ものを作り何ごとか表現するに際しては、最適なスケールを選ぶ必要がある。特に彫刻はスケールが大事である。

つまりどの様な大きさに作るかが重要なファクターのひとつとなる。

ジュエリーにスケールの選択は必要か。然り、重要である。

身体スケールで良いのではないか。否、安易に身体に依るべきではなかろう。

スカイツリーを胸元に刺す。凱旋門を首から掲げる。蟻を頭に戴く。風を首に巻く。柔軟で最適なスケールの選択があるはずだ。

審査した沢山の作品にはさまざまなスケールが見られた。1/50. 10/1. 1/1. 何かを縮小したり拡大したり等寸であったり。

果たしてそのスケールが適切であったのかどうか、一度振り返ってみても無駄ではないとおもう。

審査員長 小清水 漸 [彫刻家・京都市立芸術大学名誉教授]



大賞: GORT Elisabeth
"饅頭 steamed bread"



準大賞: YAMAMOTO Aki
"equal (i:kwel)"



伊丹賞: SENDECKA Agnieszka
"UNTIL THE COLORS COME"



奨励賞 (光陽社賞): CHIANG Mei-Fang
"The Other Shore 彼岸"



奨励賞 (光陽社賞): CHEN Chun-Tai
"Texture"



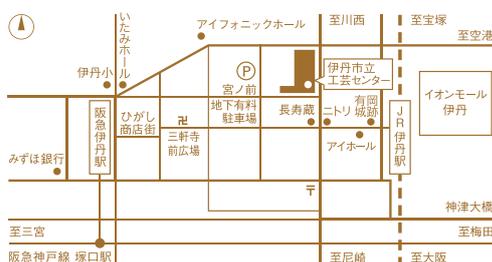
グッドマテリアル賞 (佐竹ガラス賞):
TSAI Pei Chen "THE PRECEPTION BY SEEING"



審査員賞: AITKEN-KUHNEN Helen
"Beach Brooches."



審査員賞: TANAKA Ryu
"Patina gold ring / Patina silver ring"



伊丹市立工芸センター

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-28
TEL: 072-772-5557 / FAX: 072-772-5558
http://mac-itami.com

阪急 | 伊丹線伊丹駅下車 北東へ徒歩約9分
JR | 宝塚線伊丹駅下車 北西へ徒歩約6分

※駐車場はございませんので、
宮ノ前地下駐車場[有料]をご利用ください。

【表彰式】

11月14日[土] 13:00-
伊丹市立工芸センター
企画展示室前ロビー

【次回予告】

2016伊丹国際クラフト展
主題「酒器・酒壺台」
登録締切 2016年8月予定

主催: 伊丹市立工芸センター [公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市] 協賛: (株)光陽社・佐竹ガラス(株) 助成: オランダ王国大使館
後援: 近畿経済産業局・兵庫県・(社)総合デザイナー協会(DAS)・(公社)日本ジュエリーデザイナー協会
(株)ペイ・コミュニケーションズ・伊丹コミュニティ放送(株)

Design PANTALOON